

つくり育てる漁業・水産物ブランディング振興特別委員会

日時：令和7年6月13日（金）

午前10時

場所：第四委員会室

《水産事務所》

- 1 つくり育てる漁業の推進に向けた取組について
- 2 水産物のブランド化推進に向けた取組について

つくり育てる漁業の推進に向けた取組について

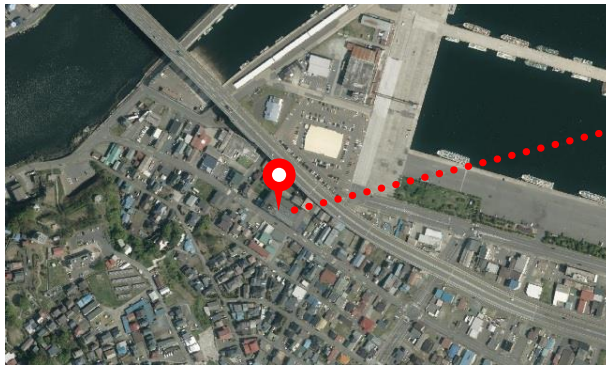
1 産学金官連携による陸上養殖事業について

(1) 実施主体

嶋脇漁業株式会社（代表取締役社長 吉田徳光）

(2) 実施場所

八戸市新湊一丁目 11-21（遊休倉庫を借上げ）



(3) 養殖設備の概要

閉鎖循環式陸上養殖

飼育用 50 トン水槽×3 基
// 7 トン水槽×2 基

+

物理ろ過装置、硝化脱窒装置、空気混合装置、
加温冷却装置、循環ポンプ、酸素供給装置、
非常用電源装置

(4) 養殖魚種

マツカワガレイ、ヒラメを予定（計 5,000 尾）

(5) 課題解決に向けた連携体制

令和 6 年 8 月 26 日「陸上養殖ビジネスモデル構築に関する連携協定」締結

団体名	役 割
嶋 脇 漁 業	・養殖設備の導入 ・養殖事業の実施（マツカワガレイ、ヒラメ） ・環境、成育、コスト等に関するデータ収集
青い森信用金庫	・融資による資金支援 ・経営面でのアドバイス、フォロー ・販路開拓支援
八戸工業大学	・ICT を活用したデータ分析支援 ・コスト削減のための技術提案
青森県栽培漁業振興協会	・種苗の生産・供給
八 戸 市	・設備導入経費に係る財政支援（補助金） ・関係者間の調整、八戸水産アカデミーとの連携

(6) 事業の進捗と今後の予定

	R7.3月	4月	5月	6月	7月	8月～
設備設置工事						
設備の動作確認、 飼育水調整						
種苗生産・供給						
養殖開始						
ICTシステム検討、 コスト検証						

6/30 種苗投入



R7.6.5 撮影

(7) 年間想定出荷量

5～7トン（令和8年度以降）

(8) 初出荷の時期

順調に成育した場合、令和8年3月頃

(9) 陸上養殖ビジネスモデルの構築

- ・飼育に関するデータやノウハウを蓄積
- ・コスト等の様々な情報も共有



陸上養殖事業の横展開を目指す。

2 八戸沿岸でのカキ養殖試験について

(1) 実施者

市川漁業協同組合、八戸みなと漁業協同組合（県の指導員による管理監督の下で実施）

(2) 実施場所

市川沖（東共第9・10号共同漁業権漁場）

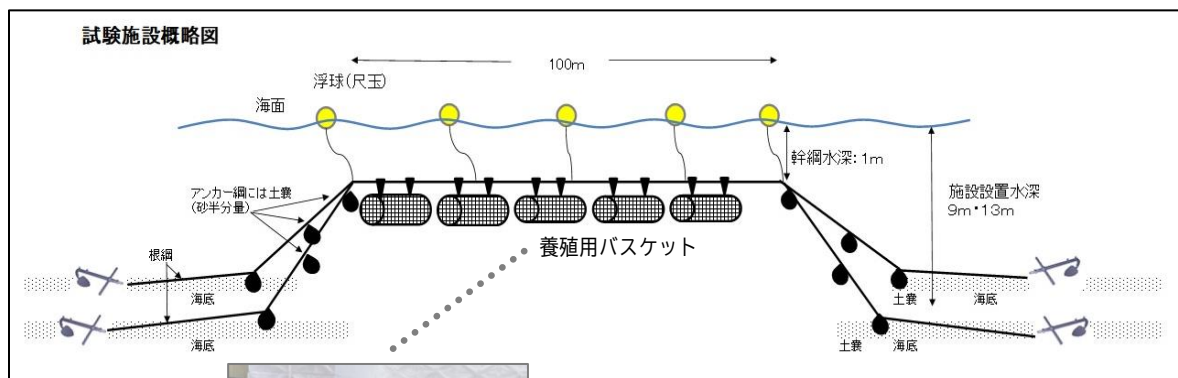


資料：青森県三八農林水産事務所 八戸水産事務所

(3) 実施内容

水深の異なる2か所（9m、13m）に設置した延縄式施設に、シングルシード養殖用バスケットを垂下してマガキを養殖し、波浪や潮流の影響が大きい当該海域におけるカキ養殖の可能性を探るもの。

【協力企業】株式会社リブル（本社：徳島県海陽町）…… 種苗供給、作業支援



資料：青森県三八農林水産事務所 八戸水産事務所

(4) 事業の進捗と今後の予定

	R6	R7
延縄式施設の設置	11/21 設置 ●	
養殖開始	12/10 種苗沖だし ●	1/25 船溜まりへ避難 ● 測定 測定 5/16 再度沖だし ● 測定 (5/15) 種苗追加(予定)
(生残数)	3,000 個	→ 1,800 個
(平均重量 ※)	約 4.4g	→ 約 18.6g

※ 測定用サンプルの平均重量

12/6 納品時



5/15 測定時



(5) 出荷サイズまでの飼育期間

おおよそ1年半（見込）

3 養殖業成長産業化支援事業補助金について

(1) 趣旨

気象や天然資源に左右されない養殖業の振興により当市水産業全体の成長産業化を図るため、養殖業への事業者の新規参入及び既存養殖事業者の経営安定化を支援するもの。

(2) 創設年度

令和6年度

(3) 制度概要

補 助 対 象 者	市内に主たる事業所を有し、かつ市内で養殖業を行う法人（漁業協同組合を含む）または個人
対 象 経 費	養殖の実施に必要となる以下の経費 1. 施設・設備費（ロープ、浮き、アンカー、水槽、ポンプ等） 2. 備品・消耗品費（簡易的な資材、貝毒検査料、人工海水等） 3. 種苗購入・確保費（種苗の購入・運搬費等） 4. 養殖運営費（餌代、光熱水費、傭船料等）※人件費を除く 5. 外部発注費（アドバイザー謝金・旅費、ダイバー作業費等） 6. その他、市長が認める経費
補 助 率	2分の1（上限30万円）

(4) 令和6年度の実績

市川漁業協同組合（カキ）

八戸みなと漁業協同組合（カキ）

八戸鮫浦漁業協同組合（ホヤ）など 5件 計1,218千円

(5) 令和7年度当初予算額

2,400千円（@300千円×8件）

水産物のブランド化推進に向けた取組について

1 水産物ブランド認証制度について

(1) 趣旨

当市で製造された安心・安全・高品質な水産加工品を「八戸市水産物ブランド認証品」として広く情報発信することにより当市水産物全体のイメージアップを図り、認知度向上、消費拡大、魚価向上につなげ、当市水産業の振興に資することを目的とするもの。

(2) 制度概要

対象となる加工品	八戸市で水揚げされた水産物を主原料として自社において新たに開発製造された加工品で、既存商品ではないもの。 (サイズや成分、パッケージ等のみの変更は対象外)
審 査 方 法	外部有識者及び市職員が審査員となり、各審査項目について点数評価を行う。
審 査 項 目	以下の6項目について合計 100 点満点で評価 ① 味（味に優れているか） ② 斬新性（独自性や新規性があるか） ③ 見た目（パッケージやネーミングなどが優れているか） ④ 簡便性（手軽で普及が期待できるか） ⑤ 素材（素材が十分に活かされているか） ⑥ 加工場の衛生管理（HACCP に基づく管理が行われているか）
認 証 基 準	平均点数 70 点以上
認 証 期 間	決定の日から3年を経過する日の属する年度の末日まで（更新可）

(3) これまでの認証実績

認 定 番 号	第 1 号
会 社 名	株式会社マルヌシ（八戸市白銀二丁目 5-1）
商 品 名	八戸の魚屋がつくった炊き込みごはんの素（さば）
認 証 期 間	令和 4 年 6 月 5 日～令和 8 年 3 月 31 日

(4) 令和 7 年度の事務スケジュール

～ 6 月末	認証申請受付（対象：令和 6 年度中に開発製造された加工品） ※関係団体・市ホームページを通じて周知
7 月	認証審査
8 月	認証書交付

2 水産加工品ブランド化推進事業補助金について

(1) 趣旨

当市水産加工品のブランド化の推進による水産物の消費拡大、魚価の向上及び水産加工技術の振興を図るため、新たな水産加工品の開発に向けた試作品製造及び八戸市水産物ブランド認証制度に基づき認証された水産加工品の販路拡大に要する経費を支援するもの。

(2) 制度概要

	①試作品製造支援	②販路拡大支援（R7 新規）
補助対象者	市内に事業所を有する事業者	同左
対象事業	水産物(水揚港・魚種の制限なし)を主原料とする新商品の試作	水産物ブランド認証制度に基づく認証品の販路拡大
対象経費	試作品製造に係る以下の経費 1. 試作品製造原材料費 2. アドバイザー費 3. パッケージデザイン費 4. プロジェクト人件費 5. 市場調査費 6. 試作品に関する販売促進費 7. その他、市長が認める経費	販路拡大に係る以下の経費 1. 展示会・商談会等出展費 2. アドバイザー費 3. 広告宣伝費 4. その他、市長が認める経費
補助率	2分の1（上限 75 万円）	2分の1（上限 50 万円）
備考	R 4 以前は「八戸港産のサバ加工品」を対象を限定していたものを、R 5 に水揚港や魚種の制限を撤廃	認証制度を活用した新商品開発の促進を目的に、認証のインセンティブとなる支援制度として R 7 に新設

(3) 令和 7 年度の事務スケジュール

	①試作品製造支援	②販路拡大支援（R7 新規）
5 月	交付要領制定（5/27）	
6 月	申請受付（6/2～6/30）	申請受付（6/2～8/29）
7 月	審査・交付決定	⋮
8 月	概算払	↓
9 月		審査・交付決定・概算払
~~~~~		
3 月	実績報告・精算	

### (4) 令和 7 年度当初予算額

2,500 千円（①試作品製造支援 @750 千円×2 件、②販路拡大支援 @500 千円×2 件）

### 3 八戸の鮮魚ブランディングプロジェクトについて

#### (1) 事業の目的

定置網等で水揚げされた魚に神経締めや血抜き等の高度な処理を施し、一匹一匹の価値を高めて他商品と差別化を図り、首都圏等の高級飲食店をターゲットに販路を開拓することで「八戸ブランド」を創出し、漁業者の所得向上と地域経済の活性化を図るもの。



#### (2) 取組期間

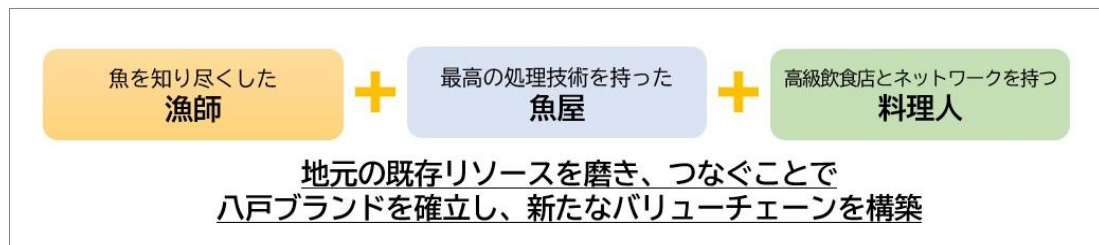
令和6年度～令和7年度（2年間）

#### (3) 実施団体

八戸水産価値向上実行委員会（会長/石井駿吾（清和漁業））

##### 【団体概要】

地元の漁業者、鮮魚店、飲食店等24の個人・団体で組織（令和7年5月末現在）



#### (4) 令和6年度の活動実績

##### ① 地元漁業者等に向けた漁獲物の鮮度保持技術の普及・啓発

- 船上神経締め講習会（9月 大久喜漁港）
- 一流技術者による技術講習及び意見交換（11月 青森市）



船上神経締め講習会



塩谷孝氏による神経締め実演

② 首都圏等の高級飲食店への販路開拓に向けたマーケティング活動

- 都内高級飲食店及び豊洲市場の視察・意見交換（10月 東京都）
- 都内高級飲食店等への鮮魚発送（10～2月 16店舗、延べ30回）
- 関西地区マーケティングのための八戸の魚PRイベント（1月 神戸市）
- 都内飲食店経営者を招致してのニーズ調査及び試食会（2月 市内）
- ロールモデルとなる小田原漁港の取組視察（3月 小田原市）



都内飲食店(乃木坂しん)との意見交換



神戸の酒蔵と連携したPRイベント

③ 漁業者と飲食店をつなぐ水産バリューチェーンの構築

- 実行委員会による定期的なミーティング・試食会（毎週水曜日）
- 生産・出荷・販売体制の構築に向けた市内飲食店との意見交換（通年）
- 新幹線を活用した都内飲食店への鮮魚輸送（3/6、3/13）



首折れ処理を施したサバ(定置網)



新幹線を活用した鮮魚発送

(5) 令和7年度の活動予定（実施済含む）

- ① 首都圏飲食店向け試食イベント（5/14 エイトベース 来場者60名超）
- ② 新幹線を活用した都内飲食店への鮮魚輸送（6/2～毎週月・木 1回6箱程度）
- ③ 鮮魚の鮮度保持技術講習会（6月）
- ④ 豊洲市場関係者（卸売業者・仲買）の八戸招致（7月以降）
- ⑤ 首都圏飲食店料理人の八戸招致（6月・9月・11月頃）
- ⑥ 低利用魚の価値向上に向けた一般消費者向けイベント（時期未定 市内）
- ⑦ 首都圏等の百貨店・スーパーでの「青森県フェア」

1年目(R6)

2年目(R7)

情報収集  
(現状把握・可能性)



ファンづくり

ブランドづくり

物流検証